

何でも読もう会

書物名	『瀬東綺譚』	開催日	出席者
	永井 荷風	2025. 2. 17	3名
<p><内 容></p> <ul style="list-style-type: none">・舞台は旧墨田区向島にある私娼街玉ノ井。・初老の小説家大江匡はそこで出会ったお雪に好ましい、温かいものを感じつつ、離れていく。・季節の移り変りと玉ノ井の様子が美しく描かれている。・なお、文中には別の作品を『失踪』の主人公も登場する。 <p><主な意見></p> <ul style="list-style-type: none">・各種の地図を参考に昭和初期の玉ノ井を探った。・『瀬東綺譚』と作中作『失踪』の比較をし、共通点と相違点を挙げて行った。・この作品のテーマについて議論し、<ul style="list-style-type: none">①古き良き日本の情緒②美しい日本語表現で、夏から秋の移り変りを巧みに描く。・お雪さんは特定のモデルではなく、玉ノ井の代表ではないか。・どうも荷風は玉ノ井を俗性からの逃避先として、別世界として認識していたように思う。・永井=大江は『失踪』の主人公種田順平とは違うよとの意思が出ているように思った。 <p style="text-align: right;">等々</p>			